

平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月14日

上場会社名 株式会社ロゼッタ

上場取引所 東

コード番号 6182 URL <http://www.rozetta.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 五石 順一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グループ管理本部長CAO (氏名) 安 美咲 TEL 03-6859-5800

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	1,258	—	190	—	173	—	121	—
27年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 121百万円 (—%) 27年2月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
28年2月期第3四半期	32.72		28.76	
27年2月期第3四半期	—		—	

(注) 1. 平成27年2月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年2月期第3四半期の数値及び平成28年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載していません。

(注) 2. 当社は、平成28年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」につきましては、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
28年2月期第3四半期	1,642		1,237		75.3		278.07	
27年2月期	1,253		856		68.2		235.04	

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 1,237百万円 27年2月期 856百万円

(注) 当社は、平成27年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で、平成28年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。1株当たり純資産につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
27年2月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
28年2月期	—	0.00	—		
28年2月期(予想)				7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成27年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で、平成28年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合、平成27年2月期の期末配当金の額は5円に相当いたします。

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,563	11.5	193	49.3	175	33.6	125	32.7	32.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成27年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で、平成28年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。このため、平成28年2月期1株当たり当期純利益については、期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年2月期3Q	4,448,600 株	27年2月期	3,980,400 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年2月期3Q	0 株	27年2月期	337,600 株
----------	-----	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期3Q	3,698,646 株	27年2月期3Q	— 株
----------	-------------	----------	-----

(注) 1. 当社は、平成27年2月期については四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年2月期3Qの期中平均株式数を記載していません。  
(注) 2. 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で、平成28年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)については、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(1株当たり情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の金融政策や財政政策継続により、雇用・所得環境の改善傾向が続き、総じて緩やかな景気回復基調で推移いたしました。一方、中国を始めとするアジア新興国の経済成長の減速懸念が広がっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは10年後の2025年に「昔からの人類の夢であるSF的自動翻訳を実現する」という創業目的を遂行するための研究開発を推し進める一方で、グローバル化がますます進展する企業向けに翻訳業務の効率化支援サービスに努めてまいりました。

このような状況の中、当社グループは、各事業とも新規顧客の開拓と既存顧客との取引が順調に推移した結果、売上高は1,258,583千円、営業利益は190,083千円、経常利益は173,667千円、四半期純利益は121,058千円となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

## ①MT事業

MT事業におきましては、「熟考Z4.0」、「熟考2015」をリリース、「熟考」「熟考Z」の自動翻訳精度の向上、機能の改良を継続的に実施してまいりました。イベントへの出展を増やし新規顧客の開拓強化を積極的に行いました。また、関東・関西を中心に行っていた営業についても積極的に地方への営業を行ってまいりました。

この結果、売上高は200,960千円、セグメント利益は68,461千円となりました。

## ②GLOZE事業

GLOZE事業におきましては、自社開発の翻訳支援ツール「究極Z」を活用し、短納期、低価格、高品質の翻訳サービスの提供に努めてまいりました。

この結果、売上高は263,256千円、セグメント利益は14,167千円となりました。

## ③翻訳・通訳事業

翻訳事業におきましては、工業・ローカライゼーション分野、マンガ・ゲーム分野での継続受注や新規顧客の獲得に成功いたしました。また、通訳事業においては医薬品関連企業などからの受注が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は656,579千円、セグメント利益は94,664千円となりました。

## ④企業研修事業

企業研修事業におきましては、日中の関係悪化により中国語の企業研修事業は依然として影響を受けておりますが、英語の企業研修事業では、新規事業の営業を強化してまいりました。

この結果、売上高は187,870千円、セグメント利益は29,829千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,377,206千円となり、前連結会計年度末に比べ447,105千円増加いたしました。これは主に上場による資金調達、売上債権の回収、及び投資不動産の売却などにより現金及び預金が378,223千円増加したことによるものであります。固定資産は265,259千円となり、前連結会計年度に比べ58,427千円減少いたしました。これは主に投資不動産の売却等により投資その他の資産が49,944千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,642,465千円となり、前連結会計年度末に比べ388,677千円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は373,914千円となり、前連結会計年度末に比べ21,319千円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が29,806千円減少、未払法人税等が49,857千円増加したことによるものであります。固定負債は31,112千円となり、前連結会計年度末に比べ13,235千円減少いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は405,026千円となり、前連結会計年度末に比べ8,083千円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,237,438千円となり、前連結会計年度末に比べ380,593千円増加いたしました。これは主に上場による資本払込み、及び四半期純利益の計上によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での業績予想につきましては、平成27年11月19日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	688,284	1,066,507
受取手形及び売掛金	175,869	192,764
たな卸資産	28,952	29,125
その他	37,967	89,642
貸倒引当金	△972	△833
流動資産合計	930,101	1,377,206
固定資産		
有形固定資産	31,105	24,052
無形固定資産		
のれん	60,387	55,355
ソフトウェア	120,835	124,374
その他	40,898	40,962
無形固定資産合計	222,122	220,692
投資その他の資産	70,459	20,515
固定資産合計	323,686	265,259
資産合計	1,253,788	1,642,465
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	95,306	65,500
1年内返済予定の長期借入金	33,026	15,998
未払法人税等	17,908	67,765
賞与引当金	14,012	27,308
業務委託料追加払引当金	3,366	1,094
その他	188,974	196,247
流動負債合計	352,595	373,914
固定負債		
長期借入金	43,722	30,839
その他	625	273
固定負債合計	44,347	31,112
負債合計	396,943	405,026
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	85,000	160,401
資本剰余金	316,684	471,684
利益剰余金	501,564	604,408
自己株式	△47,264	-
株主資本合計	855,985	1,236,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250	552
その他の包括利益累計額合計	250	552
新株予約権	609	391
純資産合計	856,845	1,237,438
負債純資産合計	1,253,788	1,642,465

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	1,258,583
売上原価	588,039
売上総利益	670,544
販売費及び一般管理費	
給料手当及び賞与	174,203
賞与引当金繰入額	21,558
その他	284,698
販売費及び一般管理費合計	480,461
営業利益	190,083
営業外収益	
受取利息	79
貸貸収入	120
その他	91
営業外収益合計	291
営業外費用	
上場関連費用	15,263
控除対象外消費税等	302
その他	1,142
営業外費用合計	16,707
経常利益	173,667
特別利益	
固定資産売却益	13,031
特別利益合計	13,031
税金等調整前四半期純利益	186,699
法人税等	65,640
少数株主損益調整前四半期純利益	121,058
四半期純利益	121,058

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	121,058
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	301
その他の包括利益合計	301
四半期包括利益	121,360
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	121,360

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年11月19日付での東京証券取引所マザーズ市場への上場にあたり、公募増資による新株式231,600株の発行及び自己株式116,300株の処分を行いました。これにより資本金及び資本準備金がそれぞれ74,042千円増加しております。また、新株予約権の権利行使により、平成27年9月30日に自己株式525株の処分、平成27年11月25日に新株式2,500株の発行が行われました。

これらの要因により、当第3四半期会計期間末において資本金が160,401千円、資本剰余金が471,684千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	MT事業	GLOZE事業	翻訳・通訳事業	企業研修事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	167,960	263,256	639,496	187,870	1,258,583	-	1,258,583
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,999	0	17,083	-	50,083	△50,083	-
計	200,960	263,256	656,579	187,870	1,308,667	△50,083	1,258,583
セグメント利益又は損 失(△)	68,461	14,167	94,664	29,829	207,123	△17,040	190,083

(注) 1. セグメント利益の調整額△17,040千円には、セグメント間取引消去、報告セグメントに帰属しないのれんの償却額及び全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎・潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	32.72円
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	121,058
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	121,058
普通株式の期中平均株式数(株) (注2)	3,699,446
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	28.76
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	—
(うち支払利息(税額相当額控除後)(千円)	—
普通株式増加数(株)	508,501
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要(注1)	—

- (注) 1. 当社株式は、平成27年11月19日をもって、東京証券取引所マザーズ市場に上場しているため、当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から当第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 当社は平成27年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、当該分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

## (重要な後発事象)

## 株式分割

当社は、平成27年12月14日開催の取締役会決議に基づき、平成28年1月1日付をもって株式分割を行っております。

## 1. 株式分割の目的

株式分割を行い投資単位当たりの金額を引き下げることにより、一層投資しやすい環境を整え、投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

## 2. 株式分割の概要

## (1) 分割方法

平成27年12月31日(木曜日)(実質上12月30日(水曜日))最終の株主名簿に記録された株主の所有株式1株につき2株の割合をもって分割しております。

## (2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	2,293,000株
今回の分割により増加する株式数	2,293,000株
株式分割後の発行済株式総数	4,586,000株
株式分割後の発行可能株式総数	7,960,800株

## (3) 株式分割の効力発生日

平成28年1月1日

## (4) 1株当たり情報に与える影響

「1株当たり情報」は、当該株式分割が期首に行われたものと仮定して算出しており、これによる影響については、当該箇所に反映されております。

## 3. 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たりの行使価額を、平成28年1月1日の効力発生と同時に、次のとおり調整いたします。

	調整前行使価額	調整後行使価額
第5回新株予約権	1,000円	500円
第6回新株予約権	1,000円	500円
第7回新株予約権	1,000円	500円
第9回新株予約権	1,000円	500円
第11回新株予約権	650円	325円

## 第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)

当社は、平成27年10月15日開催の取締役会において、SMB C日興証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる売出し(貸株人から借入れる当社普通株式52,100株の売出し)に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議し、平成27年12月22日に払込みが完了いたしました。

- (1) 募集株式の種類及び数：普通株式 52,100株
- (2) 割当価格：1株当たり639.40円 割当価格の総額33,312千円
- (3) 払込期日：平成27年12月22日
- (4) 資本組入額：1株につき319.70円
- (5) 資本組入額の総額：16,656千円
- (6) 割当先：SMB C日興証券株式会社
- (7) 資金の用途：設備投資資金、人材採用活動費並びにシステム保守費用として